

学校教育目標	知: 粘り強く学び、主体的に問題を解決する能力を育みます。 徳: 命を大切に、しなやかで豊かな心を育みます。 体: 健康に関心をもち、たくましく生きる体を育みます。 公: 自分のよさや役割に気づき、社会に貢献する姿勢を育みます。 開: 多くの文化や人と関わり、共生していく想いを育みます。				
学校概要	創立 79 周年	学校長 飯田 太	副校長 野口 由香里	3 学期制	一般学級: 16 個別支援学級: 4
	児童生徒数:	588 人	主な関係校: 浦島小学校・神奈川小学校・子安小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	浦島丘中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
「人とのつながりを豊かにする社会性」 「課題解決能力」 「創造力と発信力」	浦島丘中学校 浦島小学校 神奈川小学 子安小学校	人とのつながりを大切にし、ねばり強く社会を生きぬく子 年間を通して、二人ひとりの児童・生徒が、やる気を持って主体的に課題解決に取り組む。課題解決を実感できるような、魅力ある授業を展開するために、ICTを効果的に活用し、授業力の向上に努める。また、特別な支援が必要な児童・生徒に対して、どのような力を身につけさせていくのかなど、個々の子どもの考えを尊重して、それぞれの特性に応じた支援をしていく。そのために、Y-Pアセスメント・ICTや横浜スタジアムを活用し、小中の引き継ぎや小中合同研究授業などを通して連携をとっていく。

中期取組目標	「チーム浦中」、全教職員が協働して信頼される学校を目指します。 ・生徒の目的意識を大切に、ICTを活用するなどして、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を実践します。 ・生徒一人ひとりが良さを発揮し、自尊感情を高め、成長できるようにします。 ・体力・運動能力調査等のデータを活用し、系統性を重視した意図的・計画的な健康教育や安全教育と体育的活動を進めます。 ・地域や社会のために自分ができるところを考え、行動する姿勢を育てます。 ・お互いに意見やアイデアを伝えるなど、コミュニケーションを通して支え合い、身近なところから行動できる力を育てます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	①生徒自らが目標を細かく設定し振り返りを行うことで学習習慣を身につけさせ、基礎学力の定着を図ります。 ②ICTを活用して、個に応じた学びを充実させます。 ③教科横断的に考える経験を通して、社会や生活で生かせる知力を育みます。 ④対話的な学びを通して、主体的に学びに向かう力を伸ばします。
徳 豊かな心	①地域、保護者に年1回以上道徳の授業を公開します。また、人権学習を通して、自分たちで決めたことを、発表することで人権意識の向上を図ります。 ②福祉委員会の活動を充実させ、国際理解を深め、社会に貢献する気持ちを育みます。 ③生徒の思いに寄り添いながら命の授業、平和教育、福祉教育、多文化共生、国際教育(教室)の推進に努めます。
体 健やかな体	①新体力テストの結果をSTUDYNAVIでの分析を通して、生徒一人ひとりが目標を定め、体づくりを実践する。 ②保健体育の授業展開において、自分たちの実状や興味関心に応じて、体力向上や必要な運動を選択できる力を育成する。 ③保健指導部が行う保健安全教育では、外部講師やICTを活用しながら、学年に応じた内容で指導をしていく。
公開 自分づくり教育 (キャリア教育)	①3年間を見通して、「学ぶこと」「働くこと」の意義や役割を理解させ、自己の進路選択や生き方を考える力を育む。 ②職場体験や職業講話ではICTを活用しながら学習を充実させ、一人ひとりの思いに基づいて自己の生き方を考える力を育む。 ③総合的な学習の時間では、働くことや生きることに対してICTを活用しながら探究的に学習を進め、自分の考えを創造・発信する力をはぐくむ。
いじめへの対応	①生活委員会を中心に、横浜子ども会議などいじめの未然防止に向けて生徒が主体的に考える活動を発展させていきます。 ②年3回の学校生活アンケート及び定期的な教育相談に加え、YPアセスメントを年2回実施することで、いじめの早期発見と対応をすすめます。 ③いじめ防止を推進するため、生徒・保護者の意見を学校いじめ防止基本方針に反映させていきます。
人材育成・ 組織運営(働き方)	①各部署の仕事内容・仕事分担を明確にし、全職員が学校運営に参画する意識を高めるとともに、ICTを活用した事務処理の効率化や情報共有を図り、組織的に動く体制を強化していきます。 ②メンターチームのメンバーが円滑に業務を行えるよう、実践に活用できる研修を実施し、資質・能力の向上を目指します。
地域連携(防災)	①地区懇談会への生徒の参加を通して、地域の方々との関係づくりをすすめます。 ②地域の防災への取組について生徒が主体的に考える活動を通して、地域に貢献する「人と人とのつながり」を大切にできる生徒の育成に努めます。 ③総合的な学習の時間では、防災についてICTを活用しながら探究的に学習を進め、地域に貢献できることを考える学習をすすめます。
環境教育(SDGs)	①環境美化においては、月1回委員会活動で「UCC」を行い、教室・廊下の環境整備や手洗い、ハンカチなど生活環境を整える意識を生徒主体で高めます。②地球環境保全の姿勢を身につけるため、月1回福祉委員会で資源回収(アルミ缶、牛乳パック)を行い、その収益金を「サヘルの森」を通じてマリ共和国へ寄付する活動を継続実施します。
特別支援教育	①個別の支援計画、指導計画の活用をすすめて、生徒一人ひとりの思いや特性・状況を職員全体で共有することで、組織的に動き、「チーム」で指導にあたります。 ②個々の生徒に合った支援について、どこでもスタディの活用をすすめていながら、ICTを活用した学習支援の効果の検証をしていきます。
生徒指導	①学校生活や委員会活動を通して、自分たちで校則やルールを考え、発信する機会を設け、学校全体の規範意識を高めていきます。 ②生徒指導部会を通して、全学年の情報を共有し、理解を深め合い、より適切な指導方法の検討・実践に努めます。 ③YPアセスメントやアンケートを踏まえた、教育相談を充実させ、早期発見・早期解決に繋がります。
担当	生徒指導部